

花うさぎの「世界は腹黒い」2

日本が普通の国になるように。
産経新聞を応援しています。

TPP後の日本～最悪のシナリオ

(2011/11/09) 1/2

(<http://hanausagi2.iza.ne.jp/blog/entry/2503238/>)

やまと新聞社「TPP 号外」発行、配布者募集中!

日本で金髪の青い目をした大統領!
挨拶は英語、少数の日本語は翻訳

花うさぎ2

検索

<http://hanausagi2.iza.ne.jp/blog/>

やまと新聞社がこのほど「TPP やまと新聞号外」を作成、11月18日から一般での配布を開始するが、現在この配布に協力してくれる人々を募集している。同社は昨年の宮崎口蹄疫発生の際にも、大手メディアが報道しない事実を号外として約20万部配布、大きな成果を上げた実績がある。

TPP問題については、正確な情報が政府からほとんど公開されない中で、大手マスコミが「推進」で足並みを揃え、野田首相のAPECでの「TPP交渉参加表明」を後押しするという異常事態が続いてきた。その論調は米韓FTAが締結され、韓国側の批准を残すのみとなって、日本も自由貿易という「バスに乗り遅れるな」「韓国を見習え」というお粗末な内容に終始してきた。

しかも、韓国経済が実は破綻寸前だったという情報は見事に「報道してこなかった」というおまけまで付き、急遽韓国側からの要請で決められた日本の5兆3600億円の資金支援(通貨スワップ)も詳細を避けたという情けなさだった。

ところが、その米韓FTAに隠された毒素条項を、反対論を展開する識者が一斉にネット上で指摘すると流れが一変。農業・医療といった直接の利害関係団体だけでなく、地方紙や地方議会でも反対論が優勢となり、ここにいたってようやくテレビや新聞でもアリバイ報道をせざるを得ない状況になってきた。

特に、反対派が具体的な項目を示して懸念を表明しているのに対し、推進派がこれにまともに答えられないというお粗末な対比が明らかになって、反対論が勢い付いた。賛否で割れていた最大野党・自民党も、「APEC」での参加表明反対、強行すれば「内閣不信任案」を提出する、ということによってようやく結束を固めた。

こうしたなかで、マスコミが実施している「TPPについて」のアンケートは、賛否が拮抗するというところにまで押し戻し、徐々に一般の人にもその危険性が認識されはじめた段階

にある。しかし、一般の人には、推進派の「利害関係者が既得権益を守りたいだけ」というレッテル貼りを信じている人もまだまだ多く、これに日本が参加した場合、日本国民の生活にどのような影響を及ぼすのか、ほとんど知らされていないのが、実情だ。

こうした情勢の中、今回作成された「やまと新聞号外」は、「TPP後の日本～最悪のシナリオ」という近未来小説の形を借りて、衝撃的な未来の日本を描写。ことは単なる物やサービスの貿易問題ではなく、日本という国柄を一変させる危険性を訴える内容となっている。やまと新聞社では、号外は無料で提供するが、送料と代引き手数料は負担をお願いしたいとして、広範な人々の協力を呼びかけている。

(ニュース調、ここまで)

以下、やまと新聞社のHPからの転載です。
皆さま、ご協力をよろしくお願い致します。



やまと新聞社のホームページ(トップ画面)

近未来小説

「TPP後の日本～最悪のシナリオ」

著 結城忠雄

「大統領は、フランク・ホプキンス氏が選出されました」
テレビでは、赤絨毯の上に白人や黒人が多数立ち上がって拍手をしている。その中で、金髪で青い目をした体格の良い男が、それまでの慣習と違ひ大きくガッツポーズをしている。光景が映し出された。

「時代も変わったな」国会内の議員食堂でその中継を見ていた小野紀夫は、忙しくパソコンを叩きながらつぶやいた。「めったなことを言うなよ、批判と受け取られたらわれわれも、あっとい間に人権擁護法違反になるぞ」向かいに座る向井博は少しおどけながら言った。

テレビでは、ホプキンス大統領が流暢な英語で国会で挨拶をしている。テレビの下にはスペイン語や中国語、そしていまや少数派になった日本語で、大統領の発言から少し遅れた意訳でその言葉を追っていた。

日本は平成二四年のTPP加盟を期に大きく変わった。時の政府は「平成の開国」といって大きく宣伝し、マスコミもそれを歓迎した。しかし、その結果多くの日本企業が海外に流出してしまい、少なくなった雇用先に海外の労働者が殺到した。結局、日本人労働者のほとんどは、日本語しか話せないことそのものが「貿易障壁」として排除されることになり、日本人失業者は半数に迫るような状態になった。

しかし、TPPとほぼ同時に行われた在日外国人参政権付与によって、外国人もカウントされることになり……
「どうしてこんなになってしまったのでしょうか」紀夫の声は響くんでいた。悔しくて情けなくて、今日一日の出来事が頭のなかを走馬灯のようにながれた。なぜあの時……

(続きは号外で！見下ろし)

やまと新聞号外に掲載される近未来小説の一部(クリックでやまと新聞HP特設ページ)



『花うさぎの「世界は腹黒い」』お勧め動画
マスコミが報じない正しい歴史、日本が好きなのは必見!
「凜として愛」「氷雪の門」「誇り～伝えよう日本のあゆみ～」
「めぐみ」「日本がアジアに残した功績」「真実はどこに…」

わからない事は
調べましょう!

検索

iza プログランキング
【全体】4位 【政治】1位
(2011年10月8日時点)

花うさぎの「世界は腹黒い」2

日本が普通の国になるように。産経新聞を応援しています。

TPP後の日本～最悪のシナリオ

(2011/11/09) 2/2

(<http://hanausagi2.iza.ne.jp/blog/entry/2503238/>)

やまと新聞社「TPP 号外」発行、配布者募集中!

日本で金髪の青い目をした大統領!
挨拶は英語、少数の日本語は翻訳

花うさぎ 2

検索

<http://hanausagi2.iza.ne.jp/blog/>

(編集部)

先日主婦にアンケートをしたところ「TPPってなんのこと?」「何か安くなるなら・・・」ということでした。国民がよくわからないうちに大切な事が決められていく、これでいいのでしょうか? 決める側の国会議員も本当にわかっているのでしょうか。その後の責任を取れるのでしょうか。

何かわかりやすくこの危険性を伝える事ができないだろうか・・・その結論がこの近未来小説「TPP後の日本～最悪のシナリオ」です。

信じられないかもしれませんが。あり得ないと思うかもしれませんが。しかし、これは現実起こりえることです。民主党が最も重要視している事、その本質がこれなのです。小説では現実起こりえる最悪のシナリオを描いています。

今やらなければ、立ち上がらなければ後悔します。この日本を守り、家族を守り、伝統と文化を守る。そのために自分にできる事をやろう!絶対に後悔したくない。あの時動いていればということにはしたくない。同じ思いの皆様、号外を一部でも多く、全国で配布をお願いします。

また、ご支援頂ける皆様、賛同して下さる国会・地方議員の皆様。ご連絡お待ちしております。

tpp@yamatopress.com

やまと新聞社 編集部 編集局長:岡時彦
政治部長:宇田川敬介

【号外配布のお願いとルール】

多くの方にご賛同頂きありがとうございます。18日より全国で配布を始める予定です。現在のところ以下のルールでお願い出来ればと思います。

基本的に駅前などの街頭配布でお願い致します

部数に限りがあることをご了承下さい

配布するものは「やまと新聞号外」のみとさせていただきます。別なチラシなどを織り込む事は禁止です

ポスティングについては街頭配布が終わったあと検討させていただきます

費用について、新聞紙面の制作費などはやまと新聞社と協賛各社でまかないますが、送料と代引き手数料のご負担をお願い致します。



画像はやまと新聞社HPから

反対派は党を割る覚悟を!

産経新聞 11月9日 2面の
記事スキャン画像
(クリックでネット記事)

参加是非 首相に丸投げ

混迷 TPP論議
環太平洋戦略的
経済連携協定(TPP)の交渉参加問題を議論する民主党プロジェクトチーム(P.T、鉢呂吉雄座長)は8日夜、国会内で役員会を開き、党の提言案をとりまとめた。しかし出席者によると、交渉参加の是非を明示せず、党としての結論を見送り、野田佳彦首相に判断を丸投げする内容になった。
吉良州司事務局長は役員会終了後、記者団に対し「最後はみんなの合意を得て、一つになった」と述べた。提言案は公表されなかったが、これまでのP.Tの議論を踏まえ、「今の時点では慎重な意見が多かった」との表現で、党内の慎重派への配慮も示した。
出席者の一人は提言案について「(交渉に)『参加すべきだ』とか『参加すべきでない』とかの内容ではない」とし、別の出席者は「首相の判断を縛るものではない」と説明した。
民主党執行部は、9日の総会で提言の了承を目指す。その上で10日に政府・民主三役会議、「包括的経済連携に関する関係委員会」

民主 提言案で方向性示せず

(座長・首相)を相次いで開き、首相が記者会見して交渉参加を表明する。
しかし、賛成派、慎重派の双方が多少がっかりする(出席者内容になった)ことで、慎重派は9日の総会で改めて交渉参加の是非を確認していく方針だ。慎重派の山田正彦元農林水産相は9日に記者会見して今後の対応を表明する。役員会に先立って行われた実務者協議では「首相に一任」「参加表明に反対」など5種類の提言案が出され調整したがまとまらず、役員会でも取りまとめに4時間近くかかった。
一方、野田首相(民主党代表)と国民新党の亀井静香代表が8日夜、官邸で会談。亀井氏は「(12日からの)アジア太平洋経済協力会議(APEC)首脳会議での交渉参加表明はやらない方がいい」と訴えたが、首相は「民主党内で意見集約しているところだ」と述べるにとどめた。
TPP慎重派は8日、東京・両国国技館で、農業や医療、消費者関係団体などによる集会を開き、山田氏は「参加を断固阻止する」などと訴えた。(11面に関連記事)

「あれから100年。関税自主権を自ら放棄しようとしている」

松木議員は弊社(やまと新聞)のインタビューに「国会議員の中で最初にこの危険性に気付いて指摘した。これは農林水産だけの問題でもなければ、対アメリカの問題でもない。昔は雇用の問題なんて話題にもならなかったし、働いていなければ『なにやってんだ、働きなさい』と怒られたもんだ。でも今は違う。働いてなくても『大変だよ。働く場所ないもんな』と言われてしまう。こんな事で良いはずがない。日本は1911年の4月に先輩議員が血を吐く思いで努力を重ねて、関税自主権をやっと手に入れました。それからちょうど100年後の今、この関税自主権を自ら放棄しようとしているんだ」とし、「しかも、このTPPが何者なのか誰も適正的確に語る事ができない」と指摘。その上で「44の道府県議会では十分な審議の上、TPPには反対・慎重姿勢を可決している、賛成を決議しているところはないのに、国会の場での審議が予定されているのが11月11日の予算委員会の集中審議1日のみでは、野田総理の言う『しっかりとした議論』とはいえない。だから超党派の国会議員で国会決議を求めている」と語った。 *写真・動画・イベント情報・関連リンク先などは是非、ブログにてご覧下さい!



『花うさぎの「世界は腹黒い」』お勧め動画
マスコミが報じない正しい歴史、日本が好きなのは必見!
「凜として愛」「氷雪の門」「誇り～伝えよう日本のあゆみ～」
「めぐみ」「日本がアジアに残した功績」「真実はどこに...」

わからない事は
調べましょう!

検索

iza **ブログランキング**
【全体】4位 【政治】1位
(2011年10月8日時点)